

9月19日に、当館ニューホールにて「国立京都国際会館ニューホール竣工記念式典」を行いました。

近年、大型の会議が増加し、当館の既存施設のみでは対応できない事例が増加してきたことから、以前より国に対して、5,000人収容規模のホール増設を要望してきました。その結果、平成25年に、まずは当初要望の半分の面積約2000㎡のホールの建設が決定し、平成28年に着工後、平成30年に完成、竣工となりました。

竣工記念式典では、国会議員、京都市会議員、政府機関、京都市及び京都府関係者、関係団体約300名の方々をご列席の中、伊吹文明衆議院議員、門川大作京都市長、尾身幸次STSフォーラム理事長に来賓を代表してご挨拶をいただきました。

今後、ニューホールでは、「文化庁創設50周年記念行事」を皮切りに、科学技術に関する世界有数の国際会議である「STSフォーラム」、翌年には世界中の博物館、美術館関係者が集う日本初開催の「第25回国際博物館会議京都大会」、2年後には国連主催の大規模国際会議となる「第14回国連犯罪防止・刑事司法会議」などの開催が決定しています。

こうした重要な国際会議等を誘致・運営し、その成果を当館から発信することで、京都ひいては日本の発信力を高めること並びに世界が直面する様々な課題の解決に寄与すべく、邁進し続けていきます。



